

第42回公害総行動の成功を！

第42回全国公害被害者総行動デーは6月7日（水）8日（木）の2日間に8省庁5財界・企業に対する一斉交渉と霞が関デモ・宣伝行動として行われます。7日（水）18時からの総決起集会（虎ノ門・ニッショーホール）では、新たな救済制度を求めて運動を展開している全国大気汚染患者のみなさんの闘いと、最悪最大の公害といわれながら6年を超え裁判の判決が続く時期となった原発被害者訴訟、国と建材メーカーの責任を問い「アスベスト基本法」（仮称）の制定を求めて闘っている建設アスベストを重点に全国の公害被害者の交流・連帯の場です。17時40分頃からのオープニングでは、原発問題をはじめするどく世相を切る漫才「おしどり」のマコとケンさんが登場します。ぜひご参加ください。

（公害総行動実行委員会事務局次長／あおぞら連絡会理事・大越宏樹）

■ 東京大気公害裁判和解10周年の集い ■

運動の飛躍をめざす7月8日の成功を！

本年8月8日で東京大気汚染公害裁判の和解成立から、10年の節目を迎えます。11年余にわたる裁判闘争、勝利和解後の10年間も「東京都の医療費助成制度」を守る運動など必死に頑張ってきました。それらの運動は常に患者が先頭に立ち、そして多くの支援の方々に支えられてのものでした。この節目に共に闘った仲間が一堂に会し、交流を深める機会を持ちたいと「10周年の集い」を計画しました。

現在、全国で苦しんでいる大気汚染公害患者を救済する「国による医療費助成制度」の創設をめざし、全国の患者会が心をひとつにして奮闘しています。まさに「正念場」をむかえています。こういう情勢のなかで催される「10周年の集い」です。決意を固め合い、運動の飛躍を確認する場にもしたいと考えています。ぜひ多くの方の参加で成功させたいと思います。よろしくお祈りします。

（東京公害患者と家族の会「10周年記念事業実行委員会」・国師英明）

東京あおぞら連絡会代表委員 小池信太郎（公害・地球懇代表幹事）

以前、「ドイツは日本から学んだ」という見出しの「しんぶん赤旗」記事を目にしました。それは、ベルリン社会科学センターのワトナー博士との対談記事です。博士は、「日本から学ぶべきは、環境政策にかかわる組織が行政に圧力をかけることのみには達成される」と。それを裏付ける最大のものは、首都東京での大気汚染公害反対運動の成果であったと言えます。そうした成果を発展させるため、あおぞら連絡会の役員として頑張る決意です。

東京あおぞら連絡会「2017年度新役員名簿」

- ☆代表委員⇒ 清水鳩子（主婦連参与） 本間慎、小池信太郎（公害・地球懇） 根岸京田（東京民医連会長、代理＝鈴木博徳） 森田稔（東京地評議長、代理＝阿久津光） 西順司（患者会会長）
- ☆代表委員・理事長⇒ 吉川方章 ☆代表委員・副理事長⇒ 鶴見祐策、秋元正雄、
- ☆常任理事・事務局長⇒ 大島文雄 ☆常任理事・事務局次長⇒ 原希世巳、大越稔秋、増田重美、
- ☆常任理事⇒ 神山咲子（会計担当）、宮沢圀寛（会計監査）、西村隆雄、尾崎俊之、石川牧子、牟田静、土田尚義、石沢隆二、沼田通孝、高田悦男、吉野五郎、清水漣
- ☆理事 事⇒ *団体：6名、*地域：19名、*患者会：29名 計54名